

業界初！想いが詰まった家具と人命をつなぐ

「家具転倒防止自在L字金具」

家具の和田屋

家具の和田屋（品川区大井、長張勉代表、03・3775・7531）は、創業者である父の代から家具の販売、修理、設置を行い、昭和30年から約55年にわたり、街の家具屋として日夜営業している。

家具の和田屋から、今年、業界初の商品が研究開発された。それが「家具転倒防止自在L字金具」である。商品の特長は、L字金具の支点2点を軸にL字が自在に動き、家具の芯材と家の柱の芯材とを的確に固定できる点だ。家具と柱を留める位置は必ずL字になっているわけではない。阪神淡路大震災以降、巨大地震に備え、お客様から家具の転倒防止金具を設置する依頼が殺到したが、従来のL字金具を芯材に合わせて曲げる等の工夫をしてつなぎ留めた。しかし、東日本大震災の発生後、設置したL字金具はぐにやぐにやに折れ曲がっていた。

何とかならないのか：知り合いのメーカーに相談を持ちかけた。強度を追求すると鉄板が厚くなり、固定するネジも太く家具を壊してしまう。試行錯誤の日々が続



「家具転倒防止自在L字金具」1本780円（税別）

く中、支点を固定して動く蛇のおもちゃを見た。「これだ！」浮かんだアイデアを元に、支点2点を軸に動くL字金具を開発した。今年に入り実用新案権も取得。誰でも的確に固定できるようにネジ山の崩れにくい、ドリルビスを採用した。

「阪神淡路大震災発生時、タンスの下敷きになったり、倒れたタンスが出入り口を塞ぎ、火災に巻きこまれたりして命を落とす人が多数出た。ニュースで瓦礫の中タンスを蹴っている人の映像を見たとき、家族と思いい出を重ねた家具が悲しい出来事の原因となつてはならないと思った。そんな想いの結集した商品がこのL字金具。大規模地震発生時、絶対に家具が倒れないという保証はできないが、従来のL字金具より避難する時間を長く確保することはできる」と長張代表は話す。



長張勉代表

「阪神淡路大震災発生時、タンスの下敷きになったり、倒れたタンスが出入り口を塞ぎ、火災に巻きこまれたりして命を落とす人が多数出た。ニュースで瓦礫の中タンスを蹴っている人の映像を見たとき、家族と思いい出を重ねた家具が悲しい出来事の原因となつてはならないと思った。そんな想いの結集した商品がこのL字金具。大規模地震発生時、絶対に家具が倒れないという保証はできないが、従来のL字金具より避難する時間を長く確保することはできる」と長張代表は話す。